

わき芽を使った挿し木で、クローン栽培に挑戦しよう

期間目安	2週間	費用目安	低
研究タイプ	栽培実験	対象学年	中学生（1人〜グループOK）

1. この研究のねらい

ミニトマトのわき芽を切って挿し木にし、根が出て育つかどうかを2週間かけて観察するクローン栽培の実験です。

2. 仮説を立てよう

実験・調査の前に、自分なりの予想を立てておきましょう。例えば：

- わき芽でも発根して育つのではないかな
- 水挿しと土挿しで発根の早さに違いがあるのではないかな

ポイント：予想が外れても問題ありません。「なぜ予想と違ったのか」を考えることが自由研究の面白いところです。

3. 準備するもの

- 元気なわき芽（複数）
- 水またはポット用の土
- コップまたは小さな鉢
- 記録シート

4. 進め方（2週間プラン）

1週目	わき芽を切って水挿し・土挿しを行い、観察を始める
2週目	発根や新しい葉の様子を記録し、成長を比較する

5. 記録シートの例

日付	挿し木の方法	根の様子	新しい葉の有無

※このフォーマットを1回分として、記録のたびに行を増やしていきましょう。

6. 進めるうえでの注意点

- 切り口は清潔なハサミで斜めに切る
- 直射日光を避けた明るい場所に置く

7. まとめ方・考察のポイント

- 挿し木によるクローン栽培の可能性についてまとめる
- 水挿しと土挿しの違いを考察する

8. レポートの構成例

- 表紙：研究テーマ、氏名、学年、日付
- 研究の目的・きっかけ：なぜこのテーマを選んだか、何を知りたいか
- 仮説：実験・調査前に立てた予想
- 準備したもの・方法：使った道具・材料、実験や調査の手順
- 結果：記録表、写真、グラフなど
- 考察：結果からわかったこと、仮説との比較、理由の推測
- まとめ・感想：研究を通して学んだこと、次にやってみたいこと

8. 参考にした資料：本やウェブサイトなど（あれば）